

平成23年度第2回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成23年5月16日(月) 16時15分～17時30分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田委員、足立委員、中谷委員、秦委員、八塔委員、藤田委員、
加藤委員、飯塚委員
欠席者
委員以外の出席者 申請者(角野院生、川上院生、象谷院生)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 委員長より議事にさきがけ、前述の規則第2条の2及び3号により委員となった、看護部長及び副看護部長の紹介があった。
- 平成23年4月11日開催の平成23年度第1回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：認知症高齢者を介護する家族の感情労働に関する研究

・・・・・・・・・・資料1

内田委員長から、資料1のとおり角野院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の角野院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、依頼文書のフォントサイズを大きくする等、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認した。

(2) 課題名：役職に就いていないキャリア後期看護師の職業継続意志とその要因

・・・・・・・・・・資料2

内田委員長から、資料2のとおり川上院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の川上院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、調査票の質問項目に記してある「*(アスタリスク)」は、解析時の覚えとして必要なものであるので、被験者への依頼の段階では削除しておくこと等、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認した。

(3) 課題名：看護師長の役割実践度とその要因

・・・・・・・・・・資料3

内田委員長から、資料3のとおり象谷院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の象谷院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、下記の事項について修正することとし、本件申請について承認した。

- 研究の方法について、各施設の看護部長に電話で打診した上で依頼文書を送り、承諾の回答が得られた施設に調査票を送付することとし、研究計画書及び看護部長宛の依頼文書もそのように修正すること。
- その他、委員会で指摘のあった事項について修正すること。

報告事項

1. 審査結果通知について

委員長より、4月11日の委員会承認後、下記について修正を確認したので承認通知書を発行した旨報告があった。

(1) 申請者：臨床看護学 講師 大 森 眞 澄

課題名：精神科新任看護師のためのサポートグループにみられる相互交流

審査結果：承認（平成23年4月14日 通知）

(2) 申請者：医学系研究科看護学専攻修士課程 細 田 舞

課題名：職業性ストレスのある労働者の生きがいに影響する生活習慣に関する研究

審査結果：承認（平成23年4月14日 通知）

(3) 申請者：医学系研究科看護学専攻修士課程 井 上 千 晶

課題名：産後1か月における母親の授乳時の状況と母子相互作用形成との関連

審査結果：承認（平成23年4月19日 通知）

- 次回の看護研究倫理委員会について、平成23年6月13日（月）16時15分から開催することとした。